

平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	宇宙外交推進専門家交流費			担当部局庁	総合外交政策局			作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度	平成25年度開始			担当課室	宇宙室			室長 西永 知史	
会計区分	一般会計			施策名	基本目標Ⅱ：分野別外交費 Ⅱ-1-5 宇宙に関する取組の強化				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第1項二			関係する計画、 通知等	宇宙基本計画(平成25年1月25日宇宙開発戦略本部決定)、 日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)等				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	宇宙基本計画が提示する「宇宙外交」の一環として、本事業を通じて、我が国の優れた宇宙技術及び宇宙法学に関する国際的なブランド・イメージの確立・強化及び、将来の二国間宇宙協力に向けた環境醸成を目指す。また、日本再生戦略をも念頭に置いて、産業界・宇宙コミュニティ・外交当局の連携を強化しつつ、日本企業等有する優れた宇宙技術の国際的なビジネス展開を支援することにより、我が国の宇宙技術力の更なる向上及び経済成長につなげる。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	我が国が強みを有する宇宙技術及び宇宙法等の分野において、我が国官民の優れた宇宙技術者又は宇宙法学者を戦略的に海外に派遣し、講演会及びレセプション等を通じて諸外国の産官学関係者との対話を促進し、ネットワークを強化する。また、企業の宇宙技術者等にネットワーキング及び宇宙技術の広報の場を提供することにより、日本企業が有する優れた宇宙技術の国際ビジネス展開を支援し、我が国の宇宙技術力の更なる向上及び経済成長につなげる。 平成25年度は、アジア大洋州地域に宇宙外交推進専門家を1回派遣予定。								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	2	2		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	—	—	—	2	2		
	執行額		—	—	—				
	執行率(%)		—	—	—				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	宇宙外交推進専門家をアジア大洋州地域に派遣し、講演会等を開催し、日本の宇宙開発利用などに関する現状と将来に向けた活動や実績を効果的に印象づけるとともに、講演後のレセプションを関係者間の情報収集や意見交換、人脈形成の機会として活用する。			成果実績	参加人数	—	—	—	120人
				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	宇宙外交推進専門家を1回派遣。			活動実績 (当初見込み)	派遣回数	—	—	—	— (1回)
単位当たり コスト	1,677,000(円/回)			算出根拠	合計 1,677,000円(総額)/1回(派遣回数)				
平成25・26年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	会議費	0.9	0.6						
	文化人等派遣旅費	0.7	0.9						
	謝礼	0.1	0.1						
計	2	2							

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	本事業を通じて我が国の優れた宇宙技術力を事業対象国の政策決定者、専門家、一般市民等にアピールすることにより、我が国との二国間宇宙協力関係の発展に寄与するとともに、我が国企業の海外でのビジネス展開の支援をはかり、我が国の経済的安定にも貢献する事業でもあることから、優先度の高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	講演会開催場所やレセプションに係るケータリング業者の決定も含め優良かつ安価な案件となるよう内部審査の上、案件を実施することから、支出先の選定・競争性は確保されている。右案件が我が国の宇宙技術力の更なる向上・経済成長につながることで、コスト削減や経費支出が合理的に行われるよう派遣講師の人選及び講演場所・巡回ルート等を決定していくことから、支出の水準の妥当性、受益者との負担関係などの面で全てにおいて真に必要なものに限定されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			—	新規事業であるので、活動実績・成果実績はない。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	宇宙技術や宇宙法を通じた日本の「国際的プレゼンスの強化」「国際的なブランドイメージの確立」に貢献するべく、日本の優れた宇宙専門家を海外に派遣し先端宇宙技術や宇宙法を含む国際的なルールづくりの潮流等を紹介する講演会等をできる限り多くの場所で開催すべく、旅費の効率的な執行の観点から開催地の近接性や、日程の連続性を考慮しつつ派遣と行う方針である。					
外部有識者の所見						
—						
行政事業レビュー推進チームの所見						
		—				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
		—				
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新25－15

個別事業名: 宇宙外交推進専門家交流費

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

